



新学期がスタートして一か月・・・

さくら小学校 教頭 桑山 勝位

新緑がまぶしく、風薫る季節となりました。新年度が始まり一か月が過ぎ、子供たちは新しい学年や学級にも少しずつ慣れ、毎日元気に学校生活を送っています。朝の挨拶や授業中の真剣な表情、友達と協力して活動する姿から、それぞれの成長を感じる日々です。

5月は、学習や運動に落ち着いて取り組める時期である一方、環境の変化による疲れが出やすい時期でもあります。学校では、子供たち一人一人の様子に目を配りながら、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。ご家庭でも、早寝・早起き・朝ごはんを意識し、生活リズムを整えていただければ幸いです。

また、これから様々な学校行事も予定されています。子供たちが仲間と共に挑戦し、共に伸び、高め合い、達成感を味わうことができるよう、教職員一同支えてまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



心を育てる ありがとう

生徒指導主事 安永 弦生

子供たちは毎日元気に登校し、友達と学び、遊び、多くの人と関わりながら学校生活を送っています。しかし、その毎日は決して「当たり前」ではありません。「当たり前」の反対は、「有り難い」という言葉だと聞いたことがあります。「有り難い」とは、「有ることが難しい」という意味です。つまり、今ある日常は、多くの人のおかげによって成り立っている大切なものだということです。毎日支えてくれている家族。安全に登校できるように見守ってくださっている地域の方々。共に学び、助け合いながら生活している友達。さくらっ子には、日々の生活の中で「やってもらって当然」と考えるのではなく、「ありがとう」と感謝できる心を育ててほしいと思っています。感謝の気持ちは、人を大切に作る心につながり、その心が思いやりのある言葉や行動となって表れます。

これからも学校では、「ありがとう」が自然に言える子供が育つように努めてまいります。ご家庭でも、日々の小さな「ありがとう」を大切にいただければ幸いです。一年間ご協力をよろしくお願いいたします。

